

日本舞踊“言葉づくし”

浄瑠璃・朗読・鳥唄



一、義大夫による舞踊

上 海女
下 団子売

二、朗読による舞踊

吉田兼好「徒然草」を踊る

三、奄美の鳥唄による舞踊

あはかり・おぼくり・他

舞踊

坂東鼓登治

西崎絵乃

花柳暉沙代

河本紫景

河本龍景

西崎櫻鼓

坂東鼓都奈

義大夫

浄瑠璃

竹本越孝

竹本越春

三味線

鶴澤津賀寿

鶴澤賀寿

朗読

浅利香津代

尺八

小濱明人

唄者

朝崎郁恵

三線

夕ナカアジ

ピウ

吉川典子

雑子

望月太意吉社中

構成振付

村尚也

日時 平成27年8月23日(日) 開演:16:00 (開場:15:30)

会場 久良岐能舞台 横浜市磯子区岡村8-21-7 (裏面交通案内)

チケット 前売 3,500円 (当日 4,000円) 全席自由 未就学児は参加できません。

申込み 久良岐能舞台 045-761-3854 (午前10時~午後5時)

主催:横浜アーツフェスティバル実行委員会/横浜市能楽堂久良岐能舞台

日本舞踊「言葉づくし」 浄瑠璃・朗読・島唄

【言葉】を踊る

能狂言をはじめ、歌舞伎、文楽そして日本舞踊に至るまで、日本の芸能は音楽と同時に「言葉」に反応するという、世界でも数少ない表現様式をもっています。特に最後に誕生した「日本舞踊」は、先行芸能の要素をすべて取り込んだ「和」文化の総合ワールドとも言えます。

はじめの義太夫による舞踊は、通常良く上演される太棹三味線と浄瑠璃語りを伴奏にした舞踊です。『海女』は海に寄せ来る波と、鄙びた娘の開放的な恋。『団子売』は、夫婦連れで餅を搗くさまを男女の仲にしたとえた舞踊。

二番目は日本舞踊が言葉で踊るなら、音楽を伴わない朗読で踊ってみようという試みです。随筆『徒然草』の古典的日本語の律動を曲に見立てて踊られます。

第三は奄美大島の島唄による舞踊。聞きなれた日本語より遥かに古い原日本語と旋律とで唄われる島唄に魂が揺さぶられ、いままでとは違った日本舞踊のダンスシーンが現出します。

主な出演者



村 尚也(むら なおや) 【日本舞踊家名】坂東鼓登治(ばんどう ことじ)

古典芸能(日本舞踊・能・歌舞伎・文楽)の演出、評論、振付等、多彩な活躍をしている。NHKテレビ、ラジオで日本舞踊やしぐさの文化などについて解説。文化庁の芸術祭助成支援事業などの審査員。文化学院大学部講師でもある。日本舞踊を6歳より亡父と叔母に手ほどきを受け、その後多くの師に学ぶ。超流派の舞踊家集団『おどりの空間』を結成。主宰。それまで日本舞踊が上演されていた劇場・ホールばかりでなく、アングラ劇場や寺の本堂、野外での上演の先駆けを行い、異ジャンルとの競演を数々果たし、日舞界の異端と云われた。海外公演は20ヶ国を超える。月刊誌数誌に長年連載。著作＝「日本舞踊大鑑(上・下)」和角仁＝責任編集、「踊るヒント見るヒント(正・続)」「まんがで楽しむ能の名曲七十番」「まんがで楽しむ狂言ベスト七十番」「しぐさに隠された日本人の心」他。



竹本越孝(たけもと こしこう)

昭和47年 竹本越道(前義太夫節保存会会長)に入門。昭和49年 上野本牧亭で初舞台。昭和51年 芸団協新人奨励賞受賞 平成6年(財)清栄会奨励賞受賞 平成10年 豊澤仙廣賞受賞 平成12年 重要無形文化財義太夫節(総合指定)保持者認定(一社)義太夫協会理事) 定期公演 女流義太夫演奏会(国立演芸場・お江戸日本橋亭) 「ぎだゆう座」「じよぎ」(上野広小路亭)



鶴澤津賀寿(つるさわ つがじゅ)

昭和59年 竹本駒之助に入門、三味線を四代目 野澤錦糸に師事。昭和61年 竹本駒之助の義母 鶴澤三生の幼名を継ぎ、初舞台 鶴澤重輝の預かり弟子となる。平成8年 第47回芸術選奨文部大臣賞新人賞(古典芸術部門)、平成9年 第11回清栄会奨励賞、平成11年 第4回ビクター財団賞「奨励賞」等。平成21年 重要無形文化財「義太夫節」総合指定保持者認定



浅利香津代(あさり かずよ)

秋田県出身 日本大学芸術学部演劇学科卒業後、新劇・新人会入団、女優・望月優子にも師事。新人会には8年間所属。退団後、劇団・前進座入団、中村翫右衛門に師事。10年間在団後フリーとなり現在に至る。日本舞踊・地唄舞の名取りでもあり、三味線もこなす。【舞台】水上勉 作・演出「釈迦内柩唄」藤子役にて文化庁芸術祭優秀賞受賞。テレビ・映画・講演会でも活躍



小濱明人(おばま あきひと)

尺八演奏家 古典を石川利光、民謡を米谷智に師事。NHK邦楽技能者育成会修了。NHK邦楽オーディション合格。尺八新人王決定戦優勝。「歩き遍路 四国八十八カ所奉納演奏Tour」を敢行。古典や自作曲を中心としたソロ活動の他、伊藤多喜雄 & TAKIO BAND等数々のグループに参加している。『水～すい～』他5枚のCDを発表。また海外公演も多く、計34ヶ国で行っている。



朝崎郁恵(あさざき いくえ)

昭和10年 奄美生れ 奄美諸島で太古より唄い継がれてきた奄美島唄の唄者(うたしや) 奄美島唄の根底にある伝統はそのままに守りながら、ピアノや様々な民族楽器、ミュージシャンとのコラボレーションで奄美島唄の可能性を広げ、その世界を深め続けている その魂を揺さぶる声、深い言葉は世代や人種を超えて多くの人々に感動を届けている NHK「新日本風土記」テーマ曲でも話題

【会場ご案内】

【バス発車時刻】

最寄駅	乗車系統名	乗場	発車時刻	
京浜急行 「上大岡駅」	京急バス上7系統 笹塚・泉谷循環	2	15:23	
	横浜市営バス 64系統「磯子駅行」	12	14:56	15:31
	神奈川中央交通 64・港64系統「磯子駅行」	12	15:05	
JR 「磯子駅」	横浜市営バス 64系統「港南台駅行」	2	15:14	
	横浜市営バス 78系統「根岸駅行」	2	14:55	15:16
京浜急行 「屏風浦駅」	横浜市営バス 64系統「港南台駅行」	3	15:19	
	横浜市営バス 78系統「根岸駅行」	3	15:00	15:21

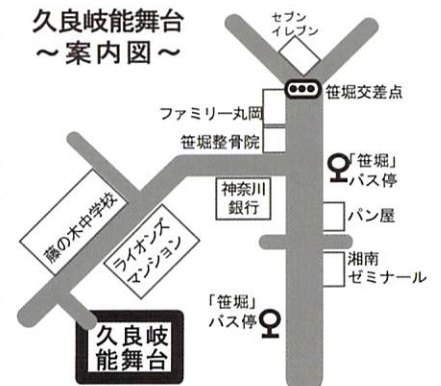
※バスの時刻は予告なく変更となる場合があります。詳細は運行会社へお問い合わせください。

※上大岡駅の横浜市営バスと神奈川中央交通は乗場が鎌倉街道沿いにごさいます。

※全ての駅から所要時間は約10分。「笹塚」下車。下車後、徒歩約5分。

※タクシーをご利用の場合：京急上大岡駅乗車約5分。(800円程度)

久良岐能舞台 ～案内図～



※駐車場がございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用くださいませ。